

# 9 丁 目 の 仲 間

発行元 社会福祉法人東京援護協会 大泉障害者支援ホーム

連絡先 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町9-4-2

電 話 03-3978-5581(代) ホームページ <http://www.tokyoengokiyokai.or.jp/13oizumi/>

令和 3 年 1 月 15 日金曜日に、成人祝賀会を開催しました。  
今回は、新型コロナ緊急事態宣言発令もあり、感染拡大予防のため、ご家族や来賓者をお迎えせず、利用者と施設職員のみで行いました。新成人の利用者 2 名の方へ、各利用者からお祝いの言葉や花束贈呈があり、最後に新成人の方より決意表明もいただきました。少人数でしたが、アットホームで素敵な成人式となりました。



施設長  
高橋 廣

立春を過ぎ暦の上では春となっていますが、まだまだ寒い日が続いています。それでも着実に季節は進み春を感じさせる事象も感じられるなど、春はもうすぐです。とは言っても心が弾む感じには程遠く心は晴れません。新型コロナウイルスの感染者が世界で 1 億人を超えるなど異常事態となっています。77人に1人が感染したということになります。昨年からわずか1年の間に、まさに爆発的な感染が続いています。日本でも、1月に緊急事態宣言が再発出され、期間も延長されるなど終息にはまだ時間がかかりそうです。集団で生活をしている施設として、一人の感染者が他の利用者に広げ、クラスター化を招くことは容易に想像できるもので、いかにそうした事態を招かないようにしていくのかに心を砕いているところです。とはいっても目に見えないウイルスです。どこに潜んでいるかもわかりません。3密を防ぎ、マスク、手洗い、換気など今言われている感染防止を徹底し、施設として最大限の感染防止を続けていきたいと考えています。今号の「9 丁目の仲間」は、前号以降の活動をお知らせします。予定通りにいかない中ですが、元気いっぱいな利用者様の日常のご様子をお伝えできれば幸いです。

<入所編>

コロナに負けず...

With  
コロナ

# イベント

## もりもり

昨年は新型コロナの終息が見えず、利用者の皆さまが楽しみにされていたスポーツ大会や日帰り旅行が中止になりました。そこで最善の注意を払い、毎月1回、ホーム内で楽しめるイベントを企画させていただきました。本号では“手作り感”溢れる各イベントを紹介させていただきます。

## ～お楽しみ会～

R.2.11.18

『どれにするか迷っちゃうね!』何と云っても“お楽しみ”は昼食のお弁当を4種類の中から1つだけ選んでいただくこと。じっくり悩んでいただき、お好きなものを選んでいただきました。他にも景品付きのビンゴやクイズでとても皆さん盛り上がりました。



## ～忘年会&Xマス会～

R.2.12.18



『忘年会なんて初めて! お酒出るの!!』…アルコールの代わりにケーキをおやつに召し上がっていただき、クリスマス気分を味わっていただきました。当日はスタッフと利用者の皆さんでセンス良く作製した飾り付けを背景に笑顔で記念撮影。『来年は良い年になりますように…』





# ～お正月イベント～



## ～年末忘れカラオケ大会～



### 初もうで

長久保神社  
(創建：昭和4年)



『明けましておめでとう！』…コロナ禍のなかで迎えたお正月ですが、皆さま元気よく、書初め・福笑い・初もうでを楽しんでいただきました。また元旦の昼食には、お楽しみの“おせち料理”『食べるのがもったいないね！』の声も多く、美しく上品に盛つけられたおせちを堪能していただきました。帰省は叶いませんでしたが、思い思いの正月を過ごされました。

### 書初め



一年の計は元旦にあり

### おせち料理



### 福笑い



## ～節分豆まき～

R.3.2.3



『もーコロナなんか退散して！』鬼に扮した職員にむけて豆を投げコロナの終息を願いました。お面は皆さまの手作りです。



### お疲れさまでした



長年、当ホームで活躍をされた小野職員ですが、1月31日付けで退職をされました。新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。

\*個人情報の関係で、6名のご利用者は未掲載とさせていただきます。ご了承下さい。



## <通所編>



今年の節分は2月3日ではなく2月2日、なんと明治30年以来124年ぶり。この天文学的・歴史的な出来事に、利用者の皆さんは大いに盛り上がりました。利用者自ら赤オニと青オニに扮した姿に、みんなの笑い声が広がり「鬼は外、福は内」と豆をまく中に「コロナに負けるな！負けないぞ！」といった声も聞こえてきました。

2月16日火曜日バレンタインお楽しみ会を開催いたしました。密を避ける為に二つの部屋に分かれ、パソコンを利用して中継し、それぞれの部屋の様子をテレビ画面に映し出して、輪投げ大会を行いました。リモートで行い、テレビに映る仲間の姿を見ることで、予想以上に盛り上がるお楽しみ会になりました。また、バレンタインの時期でしたので、美味しいケーキも食べ、皆さんご満悦。輪投げの景品は、紐くじ形式で選んでもらい、何が当たるかはわからず、一つだけあったお楽しみボックスを引いた方は、箱を開けてびっくり…！？笑顔あふれるお楽しみ会となりました。



### 編集後記

今後も、大泉障害者支援ホームに関する情報を提供してまいりますので、ご意見、ご感想がございましたら、ホームまでご連絡ください。次回の「9丁目の仲間」は6月発行予定です。また、今回写真掲載するにあたり利用さんとボランティアさんからの同意を得ています。広報誌担当 藤井、當山、大澤